

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 105-7123
 住 所 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター
 氏 名 富士通株式会社
 代表取締役社長 時田 隆仁

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	富士通株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区上小田中4-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	30	情報通信機械器具製造業
主たる事業 の内容	通信システム、情報処理システムおよび電子デバイスの製造・販売ならびにこれらに関するサービスの提供		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	22,798	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の環境活動についてはホームページにて公表しております。 http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 46,636 t-CO ₂ (調) 45,872	(実) 48,315 t-CO ₂ (調) 47,528	(実) 46,711 t-CO ₂ (調) 45,948	(実) 45,466 t-CO ₂ (調) 44,717	(実) 46,772 t-CO ₂
削減率		(実) -3.6 % (調) -3.6	(実) -0.2 % (調) -0.2	(実) 2.5 % (調) 2.5	(実) -0.3 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	富士通グループ第8期環境行動計画に沿って省エネ施策を実施いたしましたが、新規事業所の開設、実験設備の増設、気候変動に伴う使用エネルギー増加により基準年度に対して3.6%の排出量増加となりました。
第2年度	富士通グループ第8期環境行動計画に沿って省エネ施策(省エネ活動等)を実施、さらに事業所間での人員再配置等により、前年度に対して3.3%の排出量削減となりました。基準年度に対しては0.2%の排出量増加となっております。
第3年度	富士通グループ第8期環境行動計画に沿って省エネ施策(省エネ活動等)を実施、さらに人員再配置等により、前年度に対して2.7%、基準年度に対して2.5%の排出量削減となり、目標排出量の46,772t-CO2を達成いたしました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

<p>○第8期富士通グループ環境行動計画(2018年度~2018年度)</p> <p>カテゴリ: 自らの事業活動</p> <p>目標項目: バリューチェーン全体における温室効果ガス排出量の削減</p> <p>1. 事業拠点の温室効果ガス(GHG)排出量を削減する</p> <p>1-1 温室効果ガス排出量を2013年度比5%以上削減する 2018年度実績: 30.3%削減</p> <p>1-2 データセンターのPUEを2013年度比で8%以上改善する 2018年度実績: 6.7%改善</p> <p>1-3 エネルギー消費原単位を年平均1%以上改善する 2018年度実績: 前年度比2.3%改善より年平均1.7%改善(3年間平均)</p> <p>1-4 再生可能エネルギーの利用割合を6%以上に拡大する 2018年度実績: 利用割合8.6%</p> <p>2. サプライチェーンにおけるCO2排出量削減の取り組みを推進する 2018年度実績: 富士通グループの主要取引先(約1,500社)を通じ、2次取引先(46,000社以上)に削減活動の実施を依頼</p> <p>3. 輸送における売上高当たりのCO2排出量を年平均2%以上削減する 2018年度実績: 6.2%削減</p>

温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○設備投資による排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍機を高効率型に更新 ・空調機を高効率型に更新 ・エレベーター設備の一部を高効率型に更新 ○事業所としての主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの実施 ・スーパークールビズの実施 ・地域貢献イベントでのグリーン電力使用 ○オフィス及び個人の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯 ・ unnecessary 個別空調の使用を禁止 ・ パソコン不使用時の電源・画面オフ ○個別施策の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖 ○資源の節約に貢献する主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水(上下水道処理・供給エネルギーの抑制) ・ 廃棄物発生の抑制(運搬燃料の抑制)
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○設備投資による排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ チラーを高効率型に更新 ・ エレベーター設備の一部を高効率型に更新 ○事業所としての主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ クールビズの実施 ・ スーパークールビズの実施 ・ 地域貢献イベントでのグリーン電力使用 ○オフィス及び個人の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯 ・ unnecessary 個別空調の使用を禁止 ・ パソコン不使用時の電源・画面オフ ○個別施策の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖 ○資源の節約に貢献する主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水(上下水道処理・供給エネルギーの抑制) ・ 廃棄物発生の抑制(運搬燃料の抑制)
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○設備投資による排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ LED照明の導入 ○事業所としての主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ クールビズの実施 ・ スーパークールビズの実施 ・ 地域貢献イベントでのグリーン電力使用 ○オフィス及び個人の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯 ・ unnecessary 個別空調の使用を禁止 ・ パソコン不使用時の電源・画面オフ ○個別施策の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖 ○資源の節約に貢献する主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水(上下水道処理・供給エネルギーの抑制) ・ 廃棄物発生の抑制(運搬燃料の抑制)
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○設備投資による排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ LED照明の導入 ○事業所としての主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ クールビズの実施 ・ スーパークールビズの実施 ・ 地域貢献イベントでのグリーン電力使用 ○オフィス及び個人の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯 ・ unnecessary 個別空調の使用を禁止 ・ パソコン不使用時の電源・画面オフ ○個別施策の主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖 ○資源の節約に貢献する主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水(上下水道処理・供給エネルギーの抑制) ・ 廃棄物発生の抑制(運搬燃料の抑制)

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

地域貢献イベントにおいて風力発電によるグリーン電力を使用し、グリーン電力証書の購入によるカーボンオフセットを行うことで再生可能エネルギーを使用したとみなす。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
太陽光発電	規模：50kW 導入場所：川崎工場 発電量：30,000kWh	平成22年度	

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
風力発電	グリーン電力証書の購入 規模：3,000kWh 場所：川崎工場	平成28年度	
風力発電	グリーン電力証書の購入 規模：3,000kWh 場所：川崎工場	平成29年度	
風力発電	グリーン電力証書の購入 規模：3,000kWh 場所：川崎工場	平成30年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	とくになし
第1年度	とくになし
第2年度	とくになし
第3年度	とくになし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン電力購入の推進を行う。 ○廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。 ○栗木山王山緑地保全活動（森林保全活動）の推進を行う。 ○社会貢献活動として、環境教育実施の推進を行う。 ○川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行う。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン電力購入を推進し、前年度から継続して実施した。 ○廃棄物の減量化、分別化に取り組んだ。 ○栗木山王山緑地保全活動（森林保全活動）を積極的に社内PR、推進した。 ○社会貢献活動の一環として小学校などに環境出前事業（環境教育）を実施した。 ○川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン電力購入を推進し、前年度から継続して実施した。 ○廃棄物の減量化、分別化に取り組んだ。 ○栗木山王山緑地保全活動（森林保全活動）を積極的に社内PR、推進した。 ○社会貢献活動の一環として小学校などに環境出前事業（環境教育）を実施した。 ○川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行った。 ○CC等々力主催による低炭素、資源循環、自然共生を呼びかける啓発イベント「エコ暮らしこフェア」を等々力緑地にて開催した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン電力購入を推進し、前年度から継続して実施した。 ○廃棄物の減量化、分別化に取り組んだ。 ○栗木山王山緑地保全活動（森林保全活動）を積極的に社内PR、推進した。 ○社会貢献活動の一環として小学校などに環境出前事業（環境教育）を実施した。 ○川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行った。 ○CC等々力主催による低炭素、資源循環、自然共生を呼びかける啓発イベント「エコ暮らしこフェア」を開催した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	42,977	t-CO ₂
(調)	41,900	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎市上小田中4-1-1	3000	主として管理事務を行う本社等	30,117 t-CO ₂
新川崎テクノロジースクエア	川崎市幸区新小倉1-1	3000		7,456 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
富士通中原ビル	川崎市中原区下小田中2-12-5	3000	主として管理事務を行う本社等	1,186 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	2
200～300kl 未満	2
100～200kl 未満	5
100kl 未満	6

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--